

一 日本国道路元標がスタート地

日本国道路元標は、日本橋の中央部分に埋め込まれている。実は、ここはかつて東京市道路元標があった場所だ。昭和40年代の道路改修に伴い東京市道路元標は撤去、日本橋北詰に移設され、代わりに日本国道路元標が設けられた。現在の日本国道路元標は、50センチ四方の小さなプレートである。自動車の流れが激しい通りの真ん中にあるた



日本国道路元標の複製。ここで立ち止まり写真を撮る人も多い



日本国道路元標の「本物」は、橋の中央に埋め込まれている



日本国道路元標複製の脇には東京市道路元標も保存されている



街道の基点らしく、各地への距離を示す里程標が置かれている



石造二連アーチ橋である日本橋は国の重要文化財に指定されている

寄り道ニュープラン

三越

日本橋北詰にあるのが、あの三越本館。三井高利創業による越後屋三井呉服店のちの三越を基礎として発展した三井財閥の本拠地である。現在の三井本館、国重要文化財と三越本館の間の道は、広重の「名所江戸百景」にも描かれ、当時は富士山を望むことができた。この限界には1792年創業の、刃物の木屋など、老舗がいまも多く残る。



日本橋三越のシンボル、ライオン像



この突き当たりの方向に、かつては富士山が見えた

二 名水白木屋の跡地を発見

コレド日本橋手前の細い路地を左へ入ると、「名水白木屋の井戸」跡がある。この一帯は1662(寛文2)年に

「白木屋」が創業された地。白木屋は江戸時代に呉服店、明治以降は百貨店として栄えた。文豪・夏目漱石もこの地に縁が深く、作品から当時の白木屋周辺を偲ぶことができる。



白木屋やその境界は、吾輩は猫である「三四郎」にも登場する



1712(正徳2)年に掘られた井戸の跡。白木屋の井戸水は大名や住民たちの用水として親しまれた

三 コレド日本橋に名残を

「COREDO(コレド)日本橋」は、江戸時代創業の呉服店・白木屋、のちの白木屋デパートがあった場所。1932(昭和7)年末にはいわゆる「白木屋火事」が発生し、14名の死者を出した。戦前世代にはおなじみだろう。白木屋は戦後、昭和30年代に東急傘下へ入り、のちに東急百貨店へと改称されたが、1999年



近代的なビルとして生まれ変わったコレド日本橋

閉店。現在のコレド日本橋に生まれ変わった。

池波正太郎の愛したカレーを食す



池波正太郎「銀座日記」などに登場するたいめいけん。写真は名物のカレーライス。650円

は、作家・池波正太郎が通った店としても知られ、ポークソーテーやカレーライス、オムライスなどが名物。東海道散策の手始めに、こちらで腹ごしらえというのはいかが？



日本橋たいめいけん
TEL 03-3271-2465
1F:年中無休、
2F:日曜・祭日定休